

平成 21 年 4 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520433

研究課題名（和文）英語学術論文作成のための自律学習支援システムの構築
－ESP 語彙リストに基づいて－

研究課題名（英文）Constructing Autonomous-Learning Support Systems for English Academic Writing: An ESP Vocabulary Perspective

研究代表者

田地野 彰（TAJINO AKIRA）

京都大学・高等教育研究開発推進センター・教授

研究者番号：80289264

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：英語教育、ESP、語彙、ライティング、EAP

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、各種学術語彙リストを開発し、それらを活用しながら英語学術論文作成能力の育成に向けた自律学習支援システムの研究・開発・検証を行うことである。本研究では、とくに ESP (English for Specific Purposes: 「特定目的の英語」) の研究成果に基づきながら、各専門分野における主要な英語学術論文誌から学術論文コーパスを作成するとともに、各種学術語彙リストを開発・活用して当該学習支援システムの構築に向けた研究を行うことを目指している。

具体的な研究内容は、以下の通りである。

- (1) 専門家の推薦による学術雑誌・学術文献リストの収集と学術文献データベースの作成。
- (2) 上記の学術文献データベースを用いて、EAP (学術目的の英語) 論文コーパスの作成。
- (3) EAP 論文コーパスに基づいて学術語彙データベースの開発。
- (4) 学術語彙データベースを活用して EGAP (一般学術目的英語) 語彙リストの開発。
- (5) 学術語彙データベースを活用して ESAP (特定学術目的英語) 語彙リストの開発。
- (6) 上記の語彙リスト及び論文コーパスを活用して、学術論文のサブジャンルごとに特徴的な英語表現の選出・分析、ならびに英語学術論文作成のための自律学習支援システム設計図の作成。

2. 研究の進捗状況

上記の研究内容のうち、(1)～(5)についてはほぼ達成しており、現在は、(6)の内容について研究を進めている。具体的内容は、以下

のとおりである。

- (1) 社会学、教育学、経済学、医学、薬学、工学の分野の研究者の協力を得て各分野の主要学術雑誌 10 誌を選出してもらい、さらに各誌から最近掲載された学術論文を 10 本ずつ選出し学術文献データベースを作成した。
- (2) 上記の学術文献データベースを用いて、総語数約 370 万語の EAP 論文コーパスを作成した。
- (3) EAP 論文コーパスに基づき、学術語彙データベースを開発した。
- (4) 当該学術語彙データベースを活用して専門分野に関係なく共通かつ高頻度に出現する EGAP 語彙リストを開発し、他の一般語彙を含む主要語彙リスト(「JACET8000」(大学英語教育学会))との比較・評価を行った。
- (5) 同様に、学術語彙データベースを活用して各専門分野に特徴的に使用される ESAP 語彙リストの開発を行った。
- (6) さらに、EAP 論文コーパスを用いて、各論文のジャンル分析を実施し、論文タイトル分析や序論におけるムーブ分析を通して、専門分野間での類似性・差異など、専門分野ごとの論文の特徴について検討した。

これらについては、それぞれの段階で国際会議、専門学会での口頭発表、招待講演や論文発表という形で成果発表を行っている。

3. 現在までの達成度

- ②おおむね順調に進展している。

(理由)

各段階で定期的に進捗状況を確認しながら、当初の計画通りに研究を遂行できたことが主な理由である。

4. 今後の研究の推進方策

- (1) 今後は、各種語彙リストを活用しながら、学術論文のサブジャンルごとに特徴的な英語表現の選出を行う。
- (2) 選出された英語表現の言語分析を行う。
- (3) 各サブジャンル内での英語表現間の相互関連性について検討する。
- (4) 以上の研究成果に基づいて、英語学術論文作成のための自律学習支援システム設計図を作成する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- ① 田地野彰、寺内一、金丸敏幸、マスワナ紗矢子、山田浩、「英語学術論文執筆のための教材開発に向けて—論文コーパスの構築と応用—」『京都大学高等教育研究』14号、pp. 111-121、2008年、査読無。
- ② 田地野彰、「理系学生に必要な語彙とは—学術語彙データベースに基づいて—」、『英語教育』第57巻、第3号、pp. 16-19、2008年、査読無。
- ③ 田地野彰、寺内一、笹尾洋介、マスワナ紗矢子、「総合研究大学における英語学術語彙リスト開発の意義—EAPカリキュラムデザインの観点から—」、『京都大学高等教育研究』第13号、pp. 121-131、2007年、査読無。

[学会発表] (計5件)

- ① 田地野彰、寺内一、マスワナ紗矢子、「文系・理系学術論文のジャンル分析—EAP

語彙の視点から—」大学英語教育学会第47回全国大会、2008年9月12日、早稲田大学。

- ② Tajino, Akira. Curriculum Reform at a Multi-Disciplinary Research University in Japan: Towards a Linkage between EGAP and ESAP. *Educational Linguistics 2008*, 2008年5月29日、フィンランド・ヘルシンキ大学。
- ③ 田地野彰、寺内一、「専門教育との連携を目指した大学英語教育—ESPの研究成果に基づいて—」京都大学第77回公開研究会、2008年2月16日、京都大学。
- ④ 田地野彰、「京都大学における英語のカリキュラム改革—専門教育との連携を目指して—」、第4回長崎大学・大学教育開発センターシンポジウム、2007年12月26日、長崎大学。
- ⑤ 田地野彰、「これからの大学英語教育を考える」、第13回大学教育研究フォーラム、2007年3月28日、京都大学。

[図書] (計1件)

- ① 田地野彰、「大学英語教育の展望—学術研究に資する英語教育の充実に向けて—」『言語理論の展開と応用—西川盛雄教授退官記念論文・随筆集』pp. 19-35. 英宝社、2009年。

[その他]

ホームページ

<http://www15.plala.or.jp/tajinoedling/>

京都大学学術情報リポジトリ

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/70823>

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/54200>